



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 日本ピグメント株式会社

コード番号 4119 URL <https://www.pigment.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 加藤 龍巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員

(氏名) 梶 英俊

TEL 03-6362-8801

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日

配当支払開始予定日

2023年6月12日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	27,463	△0.4	△59	—	64	△95.6	△519	—
2022年3月期	27,567	△8.5	1,284	386.5	1,461	375.7	885	—

(注) 包括利益 2023年3月期 389百万円 (△69.7%) 2022年3月期 1,286百万円 (358.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	△331.17	—	△3.7	0.2	△0.2
2022年3月期	564.04	—	6.6	4.5	4.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 42百万円 2022年3月期 78百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	29,081	15,190	48.7	9,015.74
2022年3月期	32,771	14,980	42.7	8,907.93

(参考) 自己資本 2023年3月期 14,152百万円 2022年3月期 13,984百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	993	△698	△3,174	2,344
2022年3月期	1,286	△366	△1,768	4,688

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	—	—	100.00	100.00	156	17.7	1.2
2023年3月期	—	—	—	100.00	100.00	156	—	1.1
2024年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00		44.9	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,300	6.8	50	—	130	71.0	60	△7.0	38.22
通期	30,700	11.8	460	—	600	831.9	350	—	222.96

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	1,575,899 株	2022年3月期	1,575,899 株
② 期末自己株式数	2023年3月期	6,130 株	2022年3月期	5,991 株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	1,569,845 株	2022年3月期	1,569,917 株

(参考)個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	13,722	△7.3	△139	—	2,506	149.6	1,667	126.1
2022年3月期	14,804	△33.7	674	417.1	1,004	208.9	737	123.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	1,062.51	—
2022年3月期	470.00	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2023年3月期	22,340		12,900		57.7	8,217.78		
2022年3月期	24,737		11,301		45.7	7,198.65		

(参考) 自己資本 2023年3月期 12,900百万円 2022年3月期 11,301百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	7,300	10.4	25	28.9	10	△1.8	6.37	
通期	15,200	10.8	300	△88.0	200	△88.0	127.40	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	経営成績等の概況	2
	(1) 当期の経営成績の概況	2
	(2) 当期の財政状態の概況	3
	(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
	(4) 今後の見通し	4
2.	会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3.	連結財務諸表及び主な注記	5
	(1) 連結貸借対照表	5
	(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
	(3) 連結株主資本等変動計算書	9
	(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
	(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
	(継続企業の前提に関する注記)	13
	(セグメント情報)	13
	(1株当たり情報)	14
	(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループ(当社及び当社の関係会社)の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー(以下、「経営成績等」という。)の状況の概要は次のとおりであります。

財政状態及び経営成績の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の規制緩和による社会経済活動の正常化もあって、景気は緩やかに持ち直す動きがみられたものの、ウクライナ情勢の長期化や急激な円安に伴う資源価格の高騰による物価上昇、アジアや欧州向けの輸出の減少などにより、先行き不透明な状況が続いております。海外においても、各国の金融引締めに伴う景気の下振れが懸念されております。

このようななか当社グループにおいては、半導体不足等の影響により自動車関連の減産が続いていることや中国での需要低迷、および資源価格高騰等による製造コスト増もあり、当連結会計年度の売上高は274億6千3百万円(前年同期比0.4%減)、経常利益は6千4百万円(前年同期比95.6%減)となりました。一方、特別利益として海外子会社の清算手続きに伴う固定資産売却益等3億9千2百万円を計上し、特別損失として埼玉児玉工場の固定資産の減損損失13億2千4百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は5億1千9百万円(前期親会社株主に帰属する当期純利益8億8千5百万円)となりました。

当社グループのセグメント別の業績は次のとおりです。

「日本」

国内部門別の概況として、樹脂コンパウンド部門は、自動車向けで半導体不足の影響が想定以上に長引いていることから、樹脂全般で在庫調整の影響を受け、経費面では電気料金高騰が収益を圧迫し部門営業利益は昨年を下回りました。

樹脂用着色剤部門は、建材向けが堅調ではあったものの、自動車関連の販売が落ち込み、フィルム用途、化粧品・トイレタリー向けも伸び悩み、原料価格の高騰も相まって、部門営業利益は昨年を下回りました。

加工カラー部門は、主要取引先の自動車用内装材関連が減産の影響を受け、液体分散体では中国のゼロコロナ政策の影響から、中国向けの大型液晶パネル用途が低調となるなどディスプレイ需要は近年にない厳しい状況が続き、部門営業利益は昨年を下回りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は 134 億9千6百万円(前年同期比 6.7%減)、営業損失は3億3千6百万円(前年同期営業利益7億7千9百万円)となりました。

「東南アジア」

東南アジアは、一部の原料不足や半導体を起因とする部材不足の影響を受けた顧客の減産により、前年同期に比べ販売が減少しましたが、為替や原料価格高騰の影響により、当連結会計年度の売上高は 134 億円(前期比 7.3%増)となりました。一方で、取扱数量の減少や電気料金高騰、原料価格高騰の影響もあり、営業利益は3億8百万円(前期比 35.8%減)となりました。

「その他」

その他は、中国でのコロナ感染拡大でゼロコロナ政策による操業停止を余儀なくされましたが、原料価格の影響により当連結会計年度の売上高は5億6千6百万円(前期比 7.2%減)となりました。一方で、取扱数量の減少や原料価格高騰の影響もあり、営業損失は3千万円(前年営業利益2千4百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計期間の総資産は290億8千1百万円と前期末の327億7千1百万円に比べ36億8千9百万円の減少となりました。

資産のうち流動資産は150億4千8百万円と前期末の174億7千1百万円に比べ24億2千2百万円の減少となりました。この主な要因は製品が2億3百万円増加し、現金及び預金が23億4千4百万円、その他が2億7千4百万円それぞれ減少したことなどによるものです。固定資産は140億3千2百万円と前期末の153億円に比べ12億6千7百万円の減少となりました。この主な要因は、投資その他の資産が3億5千9百万円増加し、有形固定資産が15億7千4百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は138億9千万円と前期末の177億9千万円に比べ39億円の減少となりました。負債のうち流動負債は98億9千5百万円と前期末の129億6千9百万円に比べ30億7千4百万円の減少となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が2億2千4百万円増加し、短期借入金が27億5千4百万円、その他が3億1千6百万円それぞれ減少したことなどによるものです。固定負債は39億9千5百万円と前期末の48億2千万円に比べ8億2千5百万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金が1億6千万円、繰延税金負債が3億5千2百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

純資産合計は151億9千万円と前期末の149億8千万円に比べ2億1千万円の増加となりました。この主な要因は為替換算調整勘定が7億4千8百万円増加したことなどによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期に比べ23億4千4百万円減少し23億4千4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動による資金の収入は前期と比べ2億9千3百万円減少し、9億9千3百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益の減少などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動による資金の支出は前期と比べ3億3千1百万円増加し、6億9千8百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出が6億1千6百万円増加したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動による資金の減少は31億7千4百万円となりました。前期は17億6千8百万円の減少でした。

(4) 今後の見通し

今後の我が国経済及び世界経済の見通しにつきましては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高止まり、インフレ継続による景気低迷などの先行き不透明な状況が続いております。

また、当社グループの主要需要先である自動車産業においては、引き続き半導体等の部品供給不足といった懸念材料もあり、楽観視できない状況となっております。このような状況のなか、2024年3月期の連結業績見通しとしましては、売上高は307億円、経常利益は6億円、親会社株主に帰属する当期純利益は3億5千万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準により連結財務諸表を作成しております。なお、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,142,763	2,798,695
受取手形及び売掛金	6,833,724	6,839,716
製品	2,056,500	2,259,547
原材料及び貯蔵品	1,780,640	1,768,328
その他	1,657,682	1,383,282
貸倒引当金	△300	△929
流動資産合計	17,471,011	15,048,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,642,701	11,550,059
減価償却累計額	△9,545,706	△9,615,900
建物及び構築物（純額）	3,096,995	1,934,159
機械装置及び運搬具	17,912,207	17,547,400
減価償却累計額	△15,953,896	△15,911,679
機械装置及び運搬具（純額）	1,958,310	1,635,721
工具、器具及び備品	1,473,141	1,470,862
減価償却累計額	△1,289,527	△1,265,568
工具、器具及び備品（純額）	183,613	205,294
土地	3,775,375	3,714,265
建設仮勘定	114,675	20,254
その他	74,586	119,653
有形固定資産合計	9,203,556	7,629,347
無形固定資産		
その他	200,672	147,612
無形固定資産合計	200,672	147,612
投資その他の資産		
投資有価証券	4,813,589	5,093,580
退職給付に係る資産	626,242	618,200
繰延税金資産	167,089	227,871
その他	292,600	319,532
貸倒引当金	△3,585	△3,585
投資その他の資産合計	5,895,936	6,255,600
固定資産合計	15,300,165	14,032,561
資産合計	32,771,177	29,081,201

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,938,353	6,163,133
短期借入金	5,380,287	2,626,120
未払法人税等	225,088	34,449
賞与引当金	212,734	174,503
その他	1,213,405	896,908
流動負債合計	12,969,868	9,895,115
固定負債		
長期借入金	2,967,649	2,807,103
繰延税金負債	993,387	641,209
退職給付に係る負債	456,590	428,927
関係会社整理損失引当金	353,031	—
その他	49,784	117,922
固定負債合計	4,820,443	3,995,162
負債合計	17,790,311	13,890,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,033,981	1,033,981
利益剰余金	10,343,389	9,666,503
自己株式	△18,342	△18,657
株主資本合計	12,840,188	12,162,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,519,725	1,607,845
為替換算調整勘定	△354,935	393,963
退職給付に係る調整累計額	△20,343	△12,152
その他の包括利益累計額合計	1,144,447	1,989,656
非支配株主持分	996,229	1,038,280
純資産合計	14,980,865	15,190,924
負債純資産合計	32,771,177	29,081,201

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

日本ピグメント㈱(4119)2023年3月期 決算短信

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年 4 月 1 日 至 2022年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2022年 4 月 1 日 至 2023年 3 月 31 日)
売上高	27,567,122	27,463,844
売上原価	23,208,430	24,275,297
売上総利益	4,358,691	3,188,547
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	640,787	602,103
人件費	1,258,795	1,263,093
貸倒引当金繰入額	—	629
賞与引当金繰入額	65,434	57,663
退職給付費用	67,985	52,785
租税公課	86,350	238,823
旅費及び交通費	35,298	82,888
研究開発費	255,268	285,556
その他	664,184	664,126
販売費及び一般管理費合計	3,074,106	3,247,670
営業利益又は営業損失(△)	1,284,584	△59,122
営業外収益		
受取利息	5,497	37,937
受取配当金	82,458	101,047
持分法による投資利益	78,503	42,280
受取ロイヤリティー	25,508	21,196
スクラップ売却益	19,076	27,783
受取保険金	9,607	20,484
為替差益	42,039	—
その他	59,621	99,994
営業外収益合計	322,314	350,725
営業外費用		
支払利息	107,474	86,767
為替差損	—	31,671
クレーム補償費用	7,071	19,809
その他	30,554	88,970
営業外費用合計	145,100	227,218
経常利益	1,461,798	64,384
特別利益		
固定資産売却益	5,566	189,305
投資有価証券売却益	17,297	—
関係会社整理損失引当金戻入額	—	202,695
特別利益合計	22,863	392,000
特別損失		
固定資産除売却損	27,314	852
減損損失	24,538	1,324,889
投資有価証券売却損	1,036	—
ゴルフ会員権売却損	8,432	—
関係会社整理損失引当金繰入額	60,687	—
特別損失合計	122,009	1,325,741
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	1,362,653	△869,356
法人税、住民税及び事業税	346,849	180,392
法人税等調整額	64,415	△535,517
法人税等合計	411,265	△355,125
当期純利益又は当期純損失(△)	951,387	△514,231
非支配株主に帰属する当期純利益	65,881	5,663
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	885,505	△519,895

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	951,387	△514,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177,769	88,120
為替換算調整勘定	386,249	702,907
退職給付に係る調整額	△12,189	△15,487
持分法適用会社に対する持分相当額	138,944	128,037
その他の包括利益合計	335,235	903,578
包括利益	1,286,622	389,347
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,140,492	325,313
非支配株主に係る包括利益	146,129	64,033

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,481,159	1,033,981	9,536,380	△18,281	12,033,240
当期変動額					
剰余金の配当			△78,496		△78,496
親会社株主に帰属する当期純利益			885,505		885,505
自己株式の取得				△60	△60
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	807,009	△60	806,948
当期末残高	1,481,159	1,033,981	10,343,389	△18,342	12,840,188

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,697,495	△782,268	△25,766	889,460	870,829	13,793,530
当期変動額						
剰余金の配当						△78,496
親会社株主に帰属する当期純利益						885,505
自己株式の取得						△60
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△177,769	427,333	5,423	254,986	125,399	380,386
当期変動額合計	△177,769	427,333	5,423	254,986	125,399	1,187,335
当期末残高	1,519,725	△354,935	△20,343	1,144,447	996,229	14,980,865

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,481,159	1,033,981	10,343,389	△18,342	12,840,188
当期変動額					
剰余金の配当			△156,990		△156,990
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△519,895		△519,895
自己株式の取得				△315	△315
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△676,886	△315	△677,201
当期末残高	1,481,159	1,033,981	9,666,503	△18,657	12,162,987

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,519,725	△354,935	△20,343	1,144,447	996,229	14,980,865
当期変動額						
剰余金の配当						△156,990
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△519,895
自己株式の取得						△315
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	88,120	748,898	8,190	845,208	42,051	887,259
当期変動額合計	88,120	748,898	8,190	845,208	42,051	210,058
当期末残高	1,607,845	393,963	△12,152	1,989,656	1,038,280	15,190,924

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	1,362,653	△869,356
減価償却費	1,142,845	1,151,720
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,770	629
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	33,924	△43,210
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△81,330	4,024
賞与引当金の増減額(△は減少)	54,483	△39,756
受取利息及び受取配当金	△87,956	△138,984
支払利息	107,474	86,767
持分法による投資損益(△は益)	△78,503	△42,280
投資有価証券売却損益(△は益)	△17,297	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	21,748	△188,453
減損損失	24,538	1,324,889
受取保険金	△9,607	△20,484
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△12,668	△353,031
売上債権の増減額(△は増加)	△305,713	101,102
棚卸資産の増減額(△は増加)	△86,843	△90,397
その他流動資産の増減額(△は増加)	△706,792	389,914
仕入債務の増減額(△は減少)	118,187	80,383
未払消費税等の増減額(△は減少)	△20,475	△39,396
その他	40,953	△33,830
小計	1,489,850	1,280,248
利息及び配当金の受取額	87,956	138,984
利息の支払額	△104,745	△85,384
保険金の受取額	9,607	20,484
法人税等の支払額	△195,852	△361,178
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,286,815	993,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△454,100	△484,100
定期預金の払戻による収入	494,700	484,100
有形固定資産の取得による支出	△383,700	△1,000,386
有形固定資産の売却による収入	5,566	345,975
無形固定資産の取得による支出	△79,035	△12,785
投資有価証券の取得による支出	△9,937	△7,277
投資有価証券の売却による収入	25,004	—
その他	34,837	△24,174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△366,665	△698,649

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,243,920	2,145,000
短期借入金の返済による支出	△2,730,727	△2,277,000
長期借入れによる収入	350,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,473,758	△3,911,686
自己株式の取得による支出	△60	△315
配当金の支払額	△78,496	△156,990
非支配株主への配当金の支払額	△20,215	△21,982
リース債務の返済による支出	△59,071	△51,912
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,768,410	△3,174,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	125,813	536,313
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△722,446	△2,344,068
現金及び現金同等物の期首残高	5,411,110	4,688,663
現金及び現金同等物の期末残高	4,688,663	2,344,595

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に合成樹脂着色及び着色剤の製造販売をしており、国内においては当社が、海外においては東南アジア(マレーシア、インドネシア)地域をNippon Pigment(M)Sdn Bhd, P.T.Nippisun Indonesia の現地法人が担当しており、現地法人はそれぞれ独立した経営単位であります。

したがって、当社は、合成樹脂着色及び着色剤の製造販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「東南アジア」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結損益計算書 計上額(注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,470,683	12,486,383	26,957,066	610,055	27,567,122	-	27,567,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	333,610	-	333,610	215,182	548,792	△ 548,792	-
計	14,804,293	12,486,383	27,290,676	825,238	28,115,914	△ 548,792	27,567,122
セグメント利益	779,902	480,198	1,260,101	24,483	1,284,584	-	1,284,584

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	連結損益計算書 計上額(注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,496,522	13,400,969	26,897,492	566,352	27,463,844	-	27,463,844
セグメント間の内部 売上高又は振替高	225,873	79	225,953	36,616	262,569	△ 262,569	-
計	13,722,396	13,401,048	27,123,445	602,968	27,726,414	△ 262,569	27,463,844
セグメント利益又は損失(△)	△ 336,616	308,067	△ 28,548	△ 30,574	△ 59,122	-	△ 59,122

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	8,907.93円	9,015.74円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	564.04円	△331.17円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	885,505	△ 519,895
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	885,505	△ 519,895
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,569	1,569

(重要な後発事象)

該当事項はありません。